

住田町総合戦略の取組状況

(平成 28 年度末現在)

平成 29 年 12 月 1 日

住田町企画財政課

1. 基本目標の到達状況と取り組み概況

(1) 子どもの数は、小学校 2 校を維持することを目標に設定し、複式学級を回避するため 1 学年 20 人、2 校で 40 人を確保

指標	実績 (a)	目標値		達成率 (a/b)	到達率 (a/c)	
		H28 (b)	最終 (c)			
目標指標	児童数 (1 学年)	17 人	29 人	40 人 (注 1)	58.6%	42.5%
K P I	婚姻数	(16 組)	15 組	20 組	93.8%	80.0%
	出生数	(18 人)	28 人	31 人	64.3%	58.1%
	合計特殊出生率	(1.35)	1.24	1.50	108.9%	90.0%
	社会増減	+9 人	△26 人	±0 人	234.6%	—
	移住者数 " (延べ)	1 組 2 人 (8 組 17 人)	9 組 27 人	45 組 135 人	7.4%	12.6%

(注 1) 内訳=出生数 31 人+移住者 9 人

(注 2) 実績のうち()書きは、根拠となっている統計等の結果が公表前のため未確定であるもの

○目標指標等の概況

- ・出生数は、前年度に比べ 10 人減の 18 人と大幅に減少しました
- ・社会増減は、震災直後の平成 23 年度以来のプラスとなりました
※県内でプラスだったのは矢巾町と本町のみ
※データが確認できる昭和 56 年以降でも H23 を除くと初
※特徴としては、20 歳未満の転入者は多くなかったが、20~30 代の転入が多かった
- ・移住者数は、達成率が 7.4%と、目標を大幅に下回っています
※空き家バンクに関する相談件数は例年並みにあるものの、紹介できる物件数が減少している

○重点施策の取り組み概況

【結婚支援の強化】

- ・5 名の結婚相談員を委嘱し、相談会を 6 回開催しましたが、相談者はありませんでした
- ・出会いイベントを 1 回開催したところ、12 名(男 9、女 3)の参加がありましたが、町内からの参加者は 5 名でした
- ・結婚や出産を阻んでいる課題のアンケート調査は平成 29 年度に実施する予定です

【子ども・子育て世帯への経済的支援の充実】

- ・ 保育園利用率は、保育料が無料となる3歳以上児(75人)が95%、第2子以降減免のある0～2歳児(64人)が66%でした。0～2歳児のうち、60%が減免対象となっています
- ・ 住田高校生108人のうち、通学費補助は79%、給食費補助は100%の生徒に対し交付しています
- ・ 不妊治療費の助成は、一般不妊治療1件の交付実績がありました

【子育て支援拠点の充実】

- ・ 土曜保育は、平成28年12月から翌年3月まで試行実施したところ、世田米で16世帯、有住で6世帯の利用実績があり、平成29年度から本格実施に移ります
- ・ 生後8週経過後からの乳児保育受け入れのため、世田米保育園の増築工事を実施しています(平成29年度完成予定)
- ・ 延長保育は、利用実績はありませんでした
- ・ 一時保育は、世田米で6世帯(延べ187日間)、有住で2世帯(同4日間)の利用がありました
- ・ 保育士の正職員は、1名新規採用し、臨時職員は計12名を雇用しました

【教育環境の整備】

- ・ 保、小、中、高の系統的、継続的な教育活動及び中高一貫教育校の推進については、文部科学省の研究教育校の指定を町内の小中高校5校が受け、現在教育研究所の全体会や部会を開催し、「地域創造学」の研究を進めています
- ・ 国際教育については、ネイティブスピーカー2名を配置し、保育園から中学校までの英語教育の充実に努めています
- ・ 森林環境教育については、「すみた森の案内人」などと協働し、保育園から成人までの各世代に応じたプログラムで実施しています
- ・ 住田高校に対しては、住田高校教育振興会が実施する教育振興事業や生徒の通学費や給食費に対する支援を実施し、魅力づくりに努めています

【ワークライフバランスの推進】

- ・ 事業所への啓発活動については、実施に至っていません

【町の魅力発信による移住促進、定住促進】

- ・ 情報発信については、ホームページにおいて空き家等の情報を提供していますが、移住イベントについては、空き家バンク等の施策の充実に努めているところであり、現在参加を見合わせています
- ・ 子育て世代に優しい住宅取得施策等の支援については、住宅建設やリフォームに対する補助制度を統合、リニューアルし、補助実績は3件でした
- ・ 古民家シェアハウス、空き家リノベーションモデル事業、お試し住民制度については、検討中で実施に至っていません

(2) 生活圏内で必要な買い物等の生活・交通・医療の利便性が図られる環境整備

指標		実績 (a)	目標値		達成率 (a/b)	到達率 (a/c)
			H28 (b)	最終 (c)		
目標指標	住民満足度(買物)	9.8%	12.0%	50.0%	81.7%	19.6%
	〃 (道路交通)	19.4%	20.0%	50.0%	97.0%	38.8%
	〃 (医療)	10.9%	12.0%	50.0%	90.8%	21.8%
K P I	商店数	56 店舗	54 店舗	50 店舗	103.7%	112.0%
	(うち移動販売・買物代行)	7 店舗	7 店舗	10 店舗	100.0%	70.0%
	小売店売上高	—	3,100 百万円	3,355 百万円	—	—
	小さな拠点での地域活動による活動展開	0 件	0 件	5 件	—	0.0%

○目標指標等の概況

- ・住民満足度は、前年度に比べ上昇したものの、当年度の目標には達しませんでした
※対象年齢が、15歳～50歳から、18歳～72歳に変わったことにより、満足度が高い年配層が全体の満足度を引き上げたと考えられます

○重点施策の取り組み概況

【買い物環境確保への支援】

- ・空き店舗活用事業と起業支援金は、それぞれ1件の利用実績がありました
- ・住田テレビによる商店情報発信支援については、6件のCM放映を実施しました

【交通・医療の確保】

- ・地域交通の確保については、総合的な交通体系の見直しについて検討を進めています
- ・ICTを活用した医療、介護体制の構築については、未来かなえネットに1,344人(23.6%)の方に加入していただいております、今後具体的な連携体制を構築していきます

【コミュニティサポート】

- ・集落支援員は、平成28年4月から、地区公民館主事との兼任で全地区に配置済み
- ・地域おこし協力隊は、世田米地区のみ平成28年4月から配置済み
残りの4名は、東京、仙台、盛岡での説明会や町内での現地説明会を開催するなど募集したところ、五葉は平成28年12月から、上有住は平成29年3月から、大股と下有住は平成29年4月から配置することとなりました
- ・各地区の小さな拠点づくりについては、平成29年度から本格的に推進します

(3) 町内にいながらできる“しごと”があり、その仕事で生活できる収入・賃金を確保

指標	実績 (a)	目標値		達成率 (a/b)	到達率 (a/c)	
		H28 (b)	最終 (c)			
目標指標	町民所得	—	2,351 千円	2,553 千円	—	—
K P I	製造業売上高	—	15,300 百万円	16,602 百万円	—	—
	うち木材木製品業	—	8,000 百万円	9,000 百万円	—	—
	うち食品製造業	—	6,050 百万円	6,558 百万円	—	—
	農林業売上高	—	3,160 百万円	3,432 百万円	—	—
	商工業売上高	—	5,000 百万円	5,407 百万円	—	—
	就業支援による新 たな雇用 " (累計)	2 人 (6 人)	5 人	25 人	40.0%	24.0%
	交流人口	106,931 人	100,000 人	150,000 人	106.8%	71.2%

○目標指標等の概況

- ・町民所得から商工業売上高までは、統計調査の公表時期の関係から、実績が把握できていません
- ・就業支援による新たな雇用については、農業と林業で各 1 名ずつの新規就業がありましたが、目標達成には至っていません
- ・交流人口は、住民交流拠点施設（まち家世田米駅）がオープンし、19,532 人の利用があったことから、前年度に比べ大幅に増加し目標を達成しました

○重点施策の取り組み概況

【地域資源に基づく農林業の活性化】

- ・住宅建設やリフォームに対する補助制度を統合、リニューアルし、補助実績は 3 件でした
- ・木材需要の拡大推進については、住田分署建設など公共施設整備において積極的に町産材の活用を図っています
- ・遊休農地を活用した特産品開発については、食いくプロジェクトにおいて商品開発を進めています（2 点の商品化）

【地域資源を活用した産業の創出】

- ・新規就業支援については、農業と林業でそれぞれ 1 名の新規就業者がありました
- ・食いくプロジェクトについては、大豆と味噌を活用したビスコッティと、学校給食メニューを活用したすみっこ弁当を開発しました
- ・木いくプロジェクトについては、新生児用木製品や学校用の机椅子など、計 13 点の商品

を開発しました。

【観光産業振興による仕事の創出】

- ・住民交流拠点施設は平成 28 年 4 月にオープンし、19,532 人の利用がありました
- ・歴史的町並み景観づくりについては、職員対象の研修会を開催したほか、地域住民による「せたまい町歩きガイド」が設立しました
- ・花の森公園整備については、検討中で実施に至っていません
- ・産業学習体験観光と観光DMOについては、住田町観光協会が中心となって、観光物産館建設の検討や、「すみっこマルシェ」を通じた社会実験などを実施しています